

評価シート 様式

取組名	摂食嚥下障害を持つ要介護者対応の観光・福祉連携事業		
実施団体名	久米島摂食嚥下障害対応連携協議会	対象地域	沖縄県久米島町
(代表団体名)	社団法人 久米島町観光協会	推薦団体名	久米島町
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)
		継続展開の見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 地元高校生の資格取得など、長期的視点の人材育成は有効な取組であり、今後の活動展開の再構築により有効な事業となりうる。

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	摂食嚥下障害を持つ要介護者対応の観光・福祉連携事業		
実施団体名	久米島摂食嚥下障害対応連携協議会	対象地域	沖縄県久米島町
(代表団体名)	社団法人 久米島町観光協会	推薦団体名	久米島町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	福祉分野と観光分野の連携によって新たなビジネス分野を開拓し、交流促進によって離島振興をはかろうとする全国でも例のない先導性・モデル性の高い取組である。また、現地高校生による関係資格の取得を促進するなど、離島の定住人口確保に向けた取組として、その相乗効果・波及効果も大きい取組である。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、摂食嚥下障害者にターゲットを絞り、これに対する福祉と観光の連携によって新たなビジネス分野を開拓し、交流促進によって離島振興をはかろうとする取組であり、地元の高中生ボランティアを参加させるなど、将来の担い手育成をも視野に入れた取組としていることは高く評価できる。今後は、以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降の展開については明確な見通しをもって本年度の取組を検証し、事業の課題とその解決の見通しにもとづいて、事業全体の推進方針を再構築する必要がある。特に、永続的な取組となるよう、沖縄県全体の障害者およびその介護者を対象とした観光戦略の中での位置付けを検討し、他の類似の取組とも連携しつつ観光商品化を目指すとともに、コンシェルジェなどの関係する人材養成について、長期的視点から計画的に進める必要がある。